

景況実感調査(2016年9月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 稼働日が20日間となり、対前月比1日増。表面処理、カラー市況はメーカー販値上げ発表以降、荷動き、動意ともに大きな変化は無いが、石炭価格の急騰等が報じられ底打ち感が共有されており、10月以降小幅ながら値戻しが進みそうだ。建築関連は、依然として低調ながら自動車は国内外ともにそここの量が確保されているとのことで、メーカーはロールがタイト化しているとのアナウンスをしている。目玉であるオリンピック関連施設の見直し等、不安定要素もあるが、年末以降は確実に物件が動き出すはずで、第二次補正予算の通過もあり、下期に期待している。
- ② 夏休み明け後、9月には引合い増加を期待していたが、各需要家業界に盛り上がりは見られず、依然として低調。オリンピック需要等、掛け声はあるものの、実需に手応えは無く、いずれは出て来ると思われるが、急に出て来てその対応に苦慮するような懸念もある。
- ③ メーカー値上げ玉が入荷し始めているが、需要低迷を理由に価格転嫁については反応が鈍い。しかしながら、収益改善に向け販売価格引き上げに本格的に動く必要がある。
- ④ 建築向け大型物件が減少傾向にある。

厚・中板

- ① 需要が低迷、荷動きが悪い。価格転嫁は需要家次第。東鉄値下げ、高炉メーカー値上げ、切板価格はどうなるのか。

一般形鋼

- ① 本年5月以降低迷していた荷動きが、やっと動意づいた。しかし、市況も下落し昨年10月までの数年間好調だった販売水準までは回復していない。問題は9月の動意づいた荷動きが年末まで、あるいは3月まで続くか否かだ。9月の荷動き水準であれば自助努力の余地は残る。

I-I形鋼

- ① 9月の倉出しは減少し、日当たりは横這い。足下の状況は変わらず低調だが、歯抜けサイズもあり、物件の引合いも増えており、採算可能な販値に値戻しする。
- ② 市況は下げ止まり、上げようとする感じが出てきた。メーカー対応の変化が大きく影響しているようである。しっかりとしたメーカー対応が続けられるか、そこがポイントになってきた。

異形棒鋼

- ① 全体的に、市況、荷動きとも低調のなか、土木向けの出荷が好調であった。
- ② 浦安の店売りは8月、9月が本年最低の動きだった。10月は平均に戻りつつある。秋の需要期、価格を大事に来年につなげたい。

平鋼

- ① 相変わらず小口当用買いで、足下の荷動きに変化は無い。秋需が無くなって久しいが、例年通り若干の動きは出ている。しかし、物件など大きな動きは見受けられない。メーカーから値上げを示唆する声が徐々に大きくなっており、価格の下落は止まったが、強気に転じるほどの勢いはなく、様子見。

車量形鋼

- ① 9月は初めて対前月超えの数値となった。年末に向けて、現状での推移を期待する。情報としては、やや上向きを予測。
- ② 年末に向けて若干であるが増加傾向にある。公共工事が遅れる中、準備だけは欠かさぬようにしたい。
- ③ 店売りは相変わらず低調であるが、メーカー値上げに対する市況形成が急務な状況である。

鋼管

- ① 荷動きは徐々に上向いて来ているが、土木分野に限られている。

構造用鋼

- ① 先月より数量は増加してはいるが、実感としては変わらず低調な状態で推移している。
- ② 需要動向については、自動車関連はメーカー、車種により多少バラツキはあるが、比較的堅調な動きで推移している。建設機械関連は、中小型に多少回復の兆しが見られるが、大型機種は低迷した状態が続いていて回復が見込めない。工作機械関連は、国内の設備投資が一巡したため減少が続いており、また、輸出も為替の影響もあり減少している。店売りの荷動きは、建設機械の減少の影響が大きく、低調な動きが続いている。市況は弱含み横這いで推移している。

鋼材全般

- ① 8月が悪く、9月は例年並みに動いた。もう少し数量、利益を期待したいが、長雨の影響もあり置き場客が少なかった。

その他

<スクラップ>

- ① 国内、海外市況ともに小康状態で、現状相場は弱含み。

<金属表面処理加工>

- ① 9月は当初予想通り別件物が順調に動いたことから高操業で推移した。紐付き材、スポットも計画通りにて、扱ひ量および付加価値の高い特別仕様も多く、売上ともに前月比10%アップとなる。10月も引き続き物件物に対応することから高い水準で操業できそうである。